

## 第 1 回自然環境保全基礎調査に係る基本方針検討会での 解析方針部会に関する主なご意見と対処方針

| 1. 解析方針部会の役割について  |   |
|---|---|
| ご意見   | 対応  |
| 基盤情報整備としての基礎調査の重要性を総合解析で示す必要がある。基礎調査の保全対策への貢献を、解析を通じて示すとよい。   | 今回資料 1 に含めた。  |
| 総合解析では基盤情報整備としての基礎調査の重要性を示すことで予算継続を目指すのか。   | 予算は目的の柱の一つだが、それに限らず環境政策のほか SDGs 等社会貢献、地方自治体の地域戦略等への貢献に繋げたい。                                       |
| 解析だけではなく評価も行うのか。  | 基礎データの整備から評価までの間を補完する想定。評価も視野に入れつつ基礎調査で担う部分を整理したい。  |
| 解析の結果、不足が明らかなデータは次期基礎調査に組み入れる等の（計画部会への）提言も行うのか。   | 今回資料 1 のとおり、予備解析は次期基礎調査マスタープラン（以下「MP」）への提言も視野に行う。令和 5 年度から行う本解析の結果も、次期基礎調査等へのインプットを想定する。          |
| 生物多様性情報の整備と発信に関するガイドラインのとりまとめは本検討で考えているか。   | 本部会での検討が適切か未整理だが、オープンデータ化は検討すべきであり、アウトプットの一つになりうると考える。今回資料 1 のとおり、必要に応じ適切なタイミングで MP へのインプットを想定する。 |
| 2. 総合解析のテーマ選定や解析結果の取り扱いについて   |   |
| 対象を絞った上で、過去の調査データの精査と使いやすい形でのオープンデータ化を含めて欲しい。   | テーマによって必要に応じ過去データの精査を行い、解析結果等も含めてデータの公開方法を検討する。   |
| 「社会的要請があるが、基礎調査結果から得られなかったデータは何か」を分析するとよい。  | 今回資料 2 で検討。   |
| 総合解析では、過去からこれまでのトレンドを明らかにすると同時に、将来に向けた解析事例を示すという認識でよいか。   | 過去からのトレンドと同時に、今後想定される状況についても簡易な予測はする想定であるが、具体的には検討の中で整理したい。                                       |
| 「過去の生物多様性の状態」「4 つの危機の変化」「施策・対策の効果」等のカテゴリを作り、その中で「従来の基礎調査データで解析するもの」、「（従来の基礎調査では該当データがないが）今後の基礎調査で必要とされるようなデータも含めた解析を行うもの」等の基軸整理が必要。 | 今回資料 2 で整理。「生物多様性評価の地図化」のフレームを援用して整理した。   |

|   |   |
|---|---|
| 本部会で活用可能なビッグデータや基礎調査の貢献度を評価できるとよい。  | 今回資料2のとおり、活用可能なデータや基礎調査の不足点等は、今後の予備解析等を踏まえて提示したい。   |
| 環境行政上の意義やプライオリティに基づいて解析テーマの観点を整理できるとよい。また、基礎調査データがどの程度解析に使えるか等をテーマ例から整理するとよい。 | 今回資料2で整理案を提示。予備解析等を踏まえて最終的に整理したい。   |
| 「基礎研究」または「環境行政の推進」のために必要な情報収集・解析を整理し、後者の優先度を上げ、解析の重要性や、データの必要性の根拠を示す必要がある。    | 今回資料2で、「生物多様性評価の地図化」のフレームを援用し、前者は「生物多様性の状態」等、後者は「対策の優先度」に整理した。予備解析等を踏まえて最終的に整理したい。            |
| 基礎調査のように、目的に特化しない総合的・悉皆的な調査は他省庁には無い。その重要性がわかるテーマにして欲しい。                       | 今回資料2にテーマを整理。「生物多様性の状態」に関するテーマが該当するか。   |
| 基礎調査データと他分野のデータとの組合せで解析に使いなかつた場合の注意点や課題を整理できると、生物多様性情報に関するガイドラインの作成の参考になる。    | 今回資料2のとおり、まず予備解析に基づいたデータギャップ等の課題を整理し、MPの検討に反映したい。その後、令和5年度から行う本解析でも同様に整理し、次期基礎調査の中間評価に貢献させたい。 |
| 次期生物多様性国家戦略における保全の取組に対する基礎調査の位置づけや可能な解析等を対応付けて説明して欲しい。                        | 資料2で時期国家戦略の指標案との対応を整理。これを参考に解析の優先度を検討したい。   |
| <b>3. その他</b>   |   |
| 植生図の分析は非常に重要。植生図を用いた研究成果や施策等への活用事例について情報提供したい。                                | 現時点では総合解析の目的には含めない。   |
| 基礎調査データの活用事例の検証は、総合解析に含まれるのか。   | 現時点では総合解析の目的には含めない。   |
| 調査項目の優先度の方針や考え方は、解析方針部会で検討するのか。   | 計画部会で検討予定だが、その判断材料として予備解析に基づくデータギャップの分析や考え方等を本部会からインプットする想定。                                  |
| 調査の焦点を絞るため、精度やデータの解像度、簡素化、新技術の導入等を本部会で検討するか。                                  | 資料1に示す通り、本部会で明らかになった精度やデータの解像度等の課題は計画部会へインプットする想定であるが、新技術やその実装の議論は別の枠組みで行う。                   |
| 今後の検討で臨時委員の招聘が必要な分野・専門家について。  | 本部会の意見も踏まえて、次回（第2回）までに検討。   |